

「骨寺通信」第48号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会
岩手県一関市敵美町字若神子241-2 骨寺村荘園交流館内



本寺の秋の味覚が満載!!

骨寺村荘園 収穫祭

11月6日(日)、本寺地区にとっては初の試みとなる『骨寺村荘園 収穫祭』が、骨寺村荘園交流館“若神子亭”を会場に行なわれました。当日はあいにくの雨模様でしたが、朝から多くのお客様が来場され、“食欲の秋”を堪能されました。

若神子亭北側に設けられたテントでは、特産の南部一郎カボチャや骨寺荘園米をはじめ、採れたての新鮮野菜や漬物、お惣菜など本寺の秋の味覚が満載。お振る舞いの芋の子汁やつきたての餅には、長い列もできました。

南側広場では、“芸術の秋”をご堪能。一関二高の音楽部の皆さんにお越しいただき、合唱を披露していただきました。荘園の秋の空に響く歌声は、大変素晴らしいものでした。

収穫祭は、骨寺村の秋の恒例行事として来年以降も続けていきたいと思っております。皆様のお越しをお待ちしております。



骨寺村荘園米 初出荷式が行われました

骨寺村荘園遺跡で収穫された、今年産の骨寺村荘園米の初出荷式が11月23日、若神子亭で行なわれました。今年は震災や放射能の問題もありましたが、測定の結果も安全が確認され、無事においしいお米をオーナーの皆様にお送りすることができました。



骨寺村荘園 中尊寺米納め

12月18日(日)
8:30 駒形根神社集合



今年収穫した骨寺村荘園米を、昔の風習に倣って中尊寺へ奉納します。前泊の農家民泊、交流会も企画しました。詳しくは別途オーナー様へお送りしましたご案内をご覧ください。
ご参加お申込みお待ちしております。

骨寺村なう。



朝晩の冷えが厳しくなり、夕闇が訪れる時間が早くなりました。骨寺村にも、本格的な冬がやってこようとしています。荘園内を歩くと、静かな空気が流れます。初雪が溶けた田んぼには、所々に稲わらが。やがて白鳥がついばみに来るのでしょう。

古曲田家に立ち寄ると、地元のお母さんたちが土間でわらを編んでいました。このわらで、米納めで背負っていく俵を作ります。昔ながらの俵編み器具も、今でも現役です。

